

カメムシ類とその仲間

10. アオクサカメムシ



10a. 成虫



10b. 終齢幼虫



10c. 中齢幼虫

11. クサギカメムシ



11a. 成虫

12. ブチヒゲカメムシ



12a. 成虫

13. チャバナアオカメムシ



13a. 成虫

ナス科作物を加害するカメムシ類とその仲間

14. ホオズキカメムシ

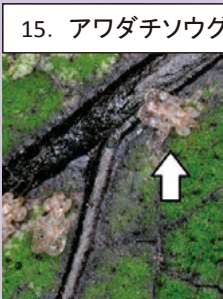


14a. 成虫



14b. 卵

15. アワダチソウゲンバイ



15a. 成虫



15b. 被害

16. ヒメフタテンヨコバイ



16a. 成虫

アザミウマ類

17. ミカンキイロアザミウマ



17a. 雌成虫



17b. トマト葉の被害



17c. トマト葉裏の糞と幼虫

18. ヒラズハナアザミウマ



18a. 雌成虫



18b. 白ぶくれ症状



18c. 発生源となるほ場周辺の雑草

19. ミナミキイロアザミウマ



19a. 成虫



19b. 幼虫



19c. キュウリ葉上のコロニー



19d. キュウリ葉の被害



19e. ナス果実の被害

20. ネギアザミウマ



20a. 雌成虫



20b. キュウリ葉の被害



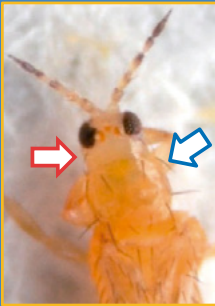
20c. ナス葉の被害

果菜類で問題となるアザミウマ類4種の見分け方

① *Frankliniella* 属



ヒラズハナ



ミカンキイロ

② *Thrips* 属



ミナミキイロ



ネギ

① 胸の前縁に目立つ刺毛がある (→)

- ・複眼のすぐ後ろの刺毛は目立つ (→) : ミカンキイロ
- ・複眼のすぐ後ろの刺毛は目立たない : ヒラズハナ

② 胸の前縁に目立つ刺毛がない

- ・体色は鮮やかなオレンジ : ミナミキイロ
- ・体色は褐色か淡黄色 : ネギ

※ 栃木県内の果菜類では、この他にも数種のアザミウマ類が発生するが、大半は防除上ほとんど問題にならない

ハエ目

21. ハモグリバエ類



21a. 成虫



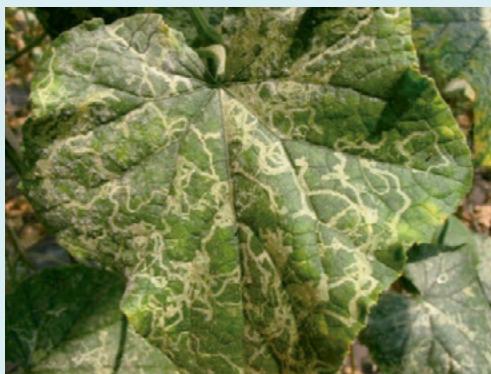
21b. キュウリ葉内の幼虫



21c. トマト葉上の
吸汁・産卵痕



21d. トマト葉の被害



21e. トマトハモグリバエによる
キュウリ葉の被害



21f. 葉内で蛹化



21g. 脱出して蛹化

22. タネバエ



22a. キュウリを加害する幼虫

多くは葉外に脱出して蛹化するが、葉内で蛹化するもの(ナモグリバエ等)もある

主にナス科作物を加害するコウチュウ目

23. タバコノミハムシ



23a. トマト葉上の成虫

24. ナスナガストビハムシ



24a. トマト葉の被害と成虫



24b. ナス葉上の成虫

25. オオニジュウヤホシテントウ



25a. ナス葉の被害



25b. 成虫

26. マメコガネ



26a. ナス葉上の成虫

主にウリ科作物を加害するコウチュウ目

27. ウリハムシ



27a. キュウリ葉上の成虫

28. クロウリハムシ



28a. ズッキーニ葉上の成虫

広食性のチョウ目

29. オオタバコガ



29a. 卵



29b. ナス花を加害する幼虫



29c. ナス果実を加害する幼虫



29d. トマト果実を加害する幼虫



29e. 終齢幼虫(褐色型)



29f. 成虫

30. ハスモンヨトウ



30a. 卵塊とふ化幼虫



30b. 若齢幼虫



30c. 終齢幼虫



30d. 蛹



30e. 成虫



30f. ナス葉の初期被害

31. ヨトウガ



31a. ナス葉上の緑色型幼虫



31b. 褐色型の幼虫



31c. 葉の被害

※葉に食痕が見られても、昼間は幼虫が見当たらない
(ヨトウガの特徴)

32. ネキリムシ類



32a. 地際の被害



32b. カブラヤガ幼虫

主にナス科作物を加害するチョウ目

33. アズキノメイガ



33a. 卵塊



33b. ふ化直前の卵塊



33c. 幼虫



33d. 蛹



33e. 成虫



33f. 幹の被害(食入害)

34. クロメンガタスズメ



34a. 成虫



34b. 終齢幼虫
(緑色型)



34c. 終齢幼虫
(黄色型)

35. ヒトリガ類



35a. 若齢幼虫と被害



35b. 終齢幼虫

36. ハマキガ類



36a. 巻かれた葉中の幼虫

37. ヨモギエダシヤク



37a. 葉を加害する幼虫

主にウリ科作物を加害するチョウ目

38. ウリキンウワバ



38a. 若齢幼虫



38b. 終齢幼虫



38c. 成虫

センチュウ類

39. サツマイモネコブセンチュウ



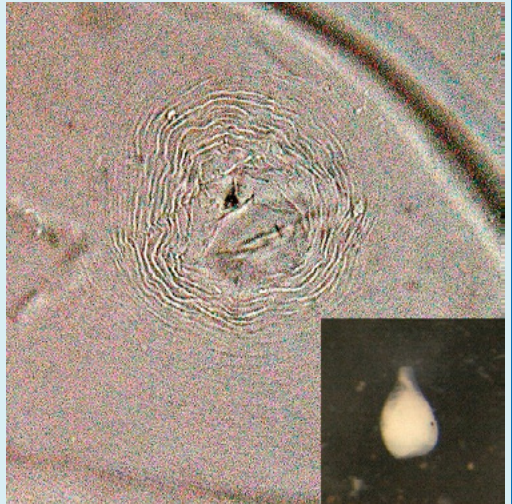
39a. キュウリ根の被害



39b. キュウリ根の被害(拡大)



39c. トマト根の被害



39d. 雌成虫(右下)とペレニアルパターン

害虫の天敵類

- ・土着天敵は、大きな害虫防除効果を持つ。
- ・天敵種ごとに薬剤の影響は異なるため、**利用する天敵に応じた選択性殺虫剤を選ぶことが重要**となる。
- ・一部の天敵類では、ほ場内や周辺部に**特定の植物を植えること**で、**密度と定着性が高まる**。

ハダニ類の主要な天敵

1. ハダニタマバエ



1a. 幼虫



1b. 繭

2. ハダニアザミウマ



2a. 成虫

3. キアシクロヒメテントウ



3a. 成虫

4. ハモリダニ類



4a. 成虫

5. カブリダニ類



5a. ミヤコカブリダニ雌成虫

※ハモリダニ類はハダニ類のほかアブラムシ類やアザミウマ類も捕食する。また、一部のカブリダニ類はアザミウマ類等も捕食する。

アブラムシ類の主要な天敵

6. ヒラタアブ類



6a. 卵



6b. 幼虫1



6c. 幼虫2



6d. 蛹



6e. 成虫

7. 寄生蜂類



7a. アブラバチ成虫



7b. 寄生されたアブラムシ(マミー)

8. テントウムシ類



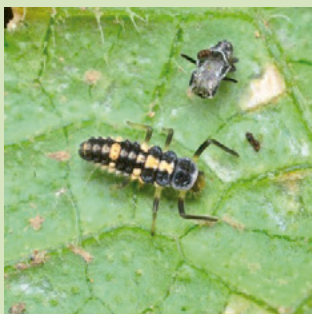
8a. 卵1



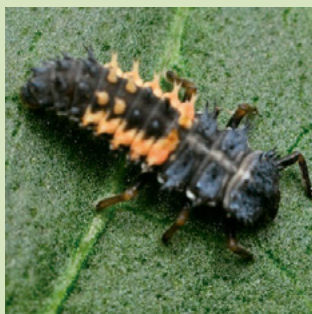
8b. 卵2



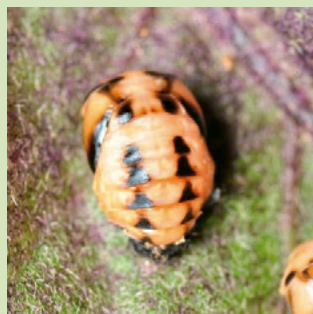
8c. フトオビヒメテントウ幼虫



8d. ヒメカメノコテントウ幼虫



8e. ナミテントウ幼虫



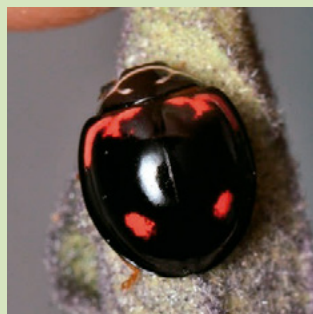
8f. ダンダラテントウ蛹



8g. フトオビヒメテントウ成虫



8h. ヒメカメノコテントウ成虫



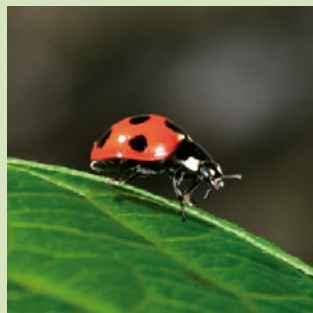
8i. ダンダラテントウ成虫



8j. ナミテントウ成虫1



8k. ナミテントウ成虫2

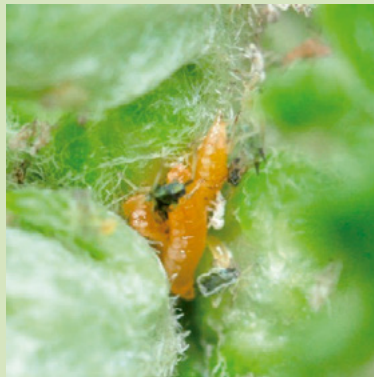


8l. ナナホシテントウ成虫

9. ショクガタマバエ



9a. ナス葉上の幼虫



9b. アブラムシを捕食する幼虫

10. クサカゲロウ類



10a. ヤマトクサカゲロウ卵



10b. ヨツボシクサカゲロウ卵



10c. ヤマトクサカゲロウ幼虫



10d. 塵でカモフラージュした
カオマダラクサカゲロウ
幼虫



10e. ヤマトクサカゲロウ繭



10f. ヤマトクサカゲロウ成虫

※クサカゲロウ類はアブラムシ類のほか、ハダニ類、アザミウマ類、チョウ目の卵なども捕食する

アザミウマ類の主要な天敵

11. カブリダニ類



11a. スワルスキーカブリダニ
雌成虫



11b. ククメリスカブリダニ
雌成虫



11c. キイカブリダニ雌成虫

12. ヒメハナカメムシ類



12a. 幼虫



12b. 成虫

13. オオメカメムシ類



13a. オオメカメムシ成虫



13b. ヒメオオメカメムシ幼虫

※ヒメハナカメムシ類、オオメカメムシ類はともにアザミウマ類のほか、ハダニ類やアブラムシ類、チョウ目の卵なども捕食する

ハモグリバエ類の主要な天敵

14. 寄生蜂類



14a. イサエアヒメコバチ



14b. ヒメコバチ科の一種

チョウ目の主要な天敵

15. 寄生蜂類



15a. ギンケハラボソ
コマユバチ繭



15b. ギンケハラボソ
コマユバチ成虫

16. ヤドリバエ類



16a. 成虫と蛹

その他の広食性天敵

17. カマキリ類



17a. カマキリ類

18. クモ類



18a. カメムシ類を捕食する
ハエトリグモ類



18b. コモリグモ類

各病害虫に対する防除薬剤は「農作物等病害虫雑草防除指針」をご参照ください

栃木県農業環境指導センターホームページ
<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/index.html>